

# ウリハムシ(Cucurbit leaf beetle)

*Aulacophora femoralis*



ウリハムシの成虫



キュウリ葉でのウリハムシの食害痕

## 発生生態

越冬した成虫が春にウリ科の苗に集まり、周囲の土壌表面や浅い土中に産卵します。成虫は体長7~8mm、橙黄色の甲虫で、葉脈を残して網の目のように葉を食害し、ひどい時は苗を枯らします。幼虫は成熟すると10mm程度、頭部は褐色、胴部は淡黄白色であり、土中で根を食害し、主根や茎まで侵入するので、株が萎凋、枯死します。

## 防除対策

幼苗期には防虫ネット、寒冷紗やビニルキャップなどで成虫の飛来を防止します。また、シルバーポリフィルムによるマルチも有効です。成虫を確認した場合は、登録のある農薬を散布しましょう。幼虫による被害を防ぐためには、播種時あるいは定植時の薬剤処理が有効です。